

年末年始の収集日程

	年 末	年 始	申 込 み
戸別収集	12月30日(月)まで		
粗大ごみ	12月27日(金)まで 申込は20日(金)まで	令和2年1月 6日(月)から	リサイクルセンター ☎552-1621 または ☎551-9150
し尿 くみ取り	12月27日(金)まで 申込は20日(金)まで		環境課ごみ対策係 ☎551-1731
リサイクル 品の販売	12月25日(水)まで (午前9時～午後4時)	1月8日(水) (午前9時～ 午後4時)	

※年始の収集初日はごみの量が大変多く、一日では収集できない場合があります。何日かに分けて出していただくようご協力をお願いします。



清掃だより
132

令和元年12月15日
福生市
生活環境部
環境課ごみ対策係

ご意見・問合せ
☎042-551-1731



12月27日(金)、12月30日(月)は 特別収集日です

年末最後の2日間(12月27日(金)、30日(月))は**特別収集日**です。

金曜日の燃やせるごみが月曜日になるなど、通常の収集品目とは異なる場合がありますので、ごみ・リサイクルカレンダー(11ページ)をご確認のうえ、適切な排出をお願いします。

※地区はカレンダー表紙の左上に記載しています。★印は通常の収集品目と異なる地区です。

地 区	12月27日(金)	12月30日(月)
★西 地 区	容器包装プラスチック、ダンボール	全地区 燃やせるごみ
東 地 区		
南 地 区	プラスチックボトル、ペットボトル、硬質プラスチック	
★中央地区		

粗大ごみのお申込みはお早めに!!

年末は、大掃除などで出た粗大ごみの申込みが集中し、ご希望の日に収集できない場合があります。特に、休日明けや午前中は電話がかかりにくくなりますので、お申込みはお早めをお願いします。

なお、電話番号はお間違えのないようお願いします。

※石油ストーブ、石油ファンヒーター、ガスストーブ、ガスファンヒーターは、大きさに関わらず粗大ごみとして収集します。ご注意ください。



○申込受付：12月20日(金)まで

○年内回収：12月27日(金)まで

粗大ごみは**リサイクルセンター**へ電話してください

☎042-552-1621または042-551-9150

※電話番号は、お掛け間違いのないようお願いします。

福生市ごみ・資源分別一覧をご活用ください!

カラー版『福生市ごみ・資源分別一覧』を作成しました。必要な品目をすばやく探し出せるように、インデックスを付け、文字も大きくするなど、より見やすく利用しやすい冊子になっています。

出し方がわからないごみ・資源は、分別一覧でご確認のうえ、適切な分別排出をお願いします。

ご希望の方は、市役所第二棟2階環境課ごみ対策係窓口へお越しください。

※平成26年4月改訂版も引き続きお使いいただけます。



ごみの散乱防止と3Rを進めるための ポスター・標語コンテストの入選作品が決まりました!

市内の小学生の皆さんから、ごみに関するポスターと標語が寄せられました。
福生市廃棄物減量等推進員の厳正な選考の結果、次の作品が入選しました。(敬称略)
入選作品は、ごみ・リサイクルカレンダーへの掲載など、ごみ減量のPRに使用します。

《ポスターの部門》

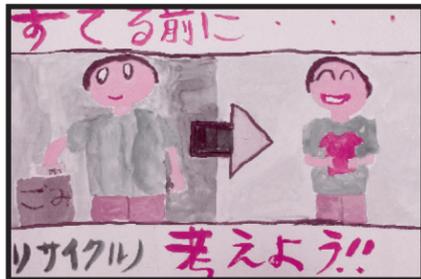
■小学4年生から6年生の部



◆一席 石井 萌音 (六小4年)



◆二席 和田 隆士朗 (一小4年)



◆三席 嶋根 弘十 (一小4年)



入選
おめでとう!

《標語の部門》

■小学1年生から3年生の部

◆一席 長橋 穂乃花 (三小1年)
「みてみてみて!
わたしのかわいい
マイバック♡」

■小学4年生から6年生の部

◆一席 長橋 佑真 (三小6年)
「断ります レジ袋なんか いりません」
◆二席 半田 彩乃 (七小4年)
「リサイクル 形を変えて 守ろうね」
◆三席 大和 姫奈 (五小4年)
「リサイクル ごみをぶんべつ
さいりよう」

平成30年度 福生市のごみ処理実績と資源状況についてお知らせします

●総ごみ量が減量しました
平成29年度と比較すると129トンの減量となりました。

●総資源化率は0.7ポイント低下
総資源化率とは、集めたごみ等の中から資源(集団資源回収や収集後資源化を含む)としてリサイクルされた割合です。平成29年度と比較すると0.7ポイント低下しています。

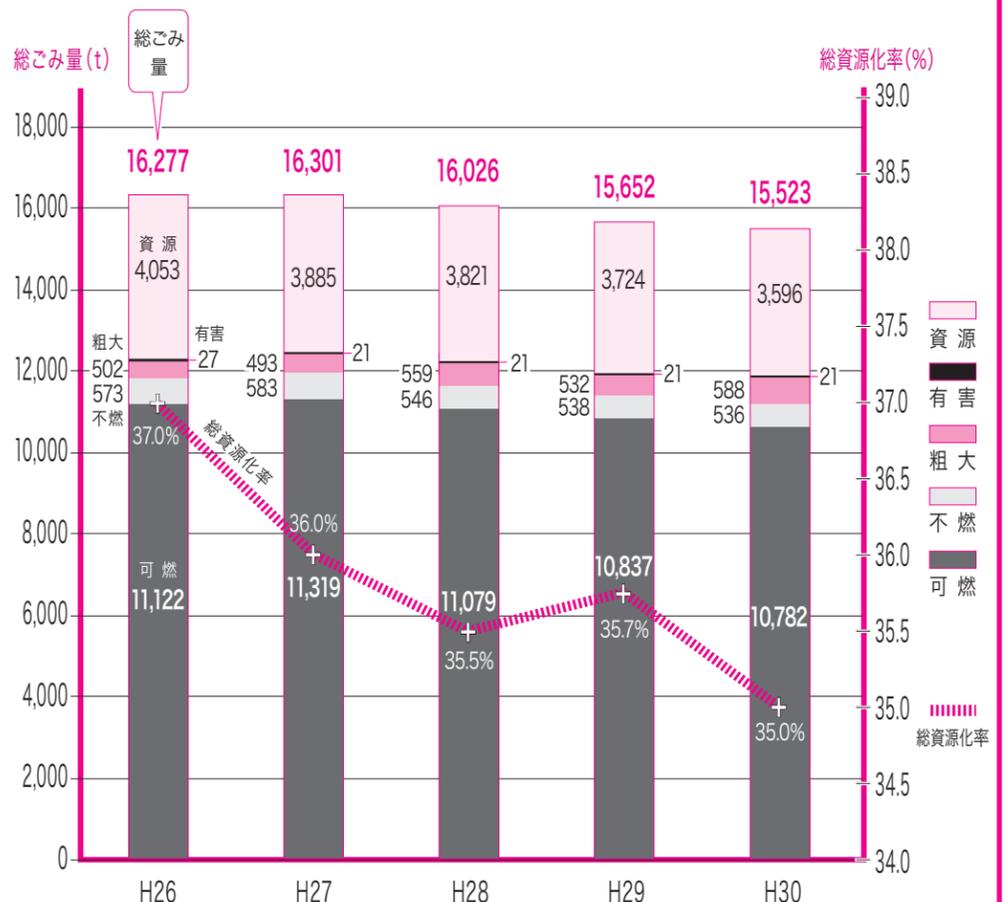
総ごみ量は、平成28年度以降着実に減量が進んでいますが、資源ごみとして出された割合である総資源化率は低下した結果となりました。総資源化率を上げるためには、ごみを減らすのと同時に資源ごみをきちんと分別することが大切です。

「身近にできる工夫で、環境にやさしい暮らし」を実践しましょう。

- 細かい小さな紙も封筒や紙袋に入れて雑紙として出す
- 食品等の容器包装は、小さなものでも洗って容器包装プラスチックで出す
- 生ごみは、堆肥化容器を活用して堆肥を再利用する

今後ともより一層適正な分別を徹底していただき、ごみ減量と資源化にご協力をお願いします。

総ごみ量と総資源化率の推移



生ごみ堆肥化容器を無償で貸し出します!

燃やせるごみの中には、約14%の“生ごみ”が含まれています。水分が多く含まれている生ごみは、焼却する際に燃料を多く使い、環境への負荷がかかるため、水分をよく切るなどして減量することが大切です。

福生市では、燃やせるごみを減らす1つの方法として、生ごみ堆肥化容器を無償で貸し出しています。ごみの減量のためにもぜひご活用ください。



▲生ごみ堆肥化容器
(左:EM容器 右:コンポスト容器)

《生ごみ堆肥化容器は大きく分けて2種類あります》

種類	設置場所	特徴
コンポスト容器	土の上に直接置く ※庭や畑、花壇などに直接置いて使用可能	生ごみを堆積していき、土中の微生物により発酵分解されることで、堆肥を作り出す
EM容器	屋内(ベランダ)に置く ※集合住宅等の庭のない所でも使用可能	生ごみをEM菌の働きにより液肥に変える

●申請方法

貸し出しには申請が必要です。
印鑑をお持ちのうえ、市役所第二棟2階環境課ごみ対策係窓口へお越しください。

●注意事項

貸し出しは、一世帯につき1基です。
貸し出し期間は3年間で、期間後は譲与となり、返却できません。
また、処分費用や発酵促進剤などの補助用品は各自でご負担ください。

危険防止のために、適正な分別排出をお願いします!!

燃やせないごみの収集作業中に、ごみ収集車から発火する事故が発生しました。原因はライターやスプレー缶、卓上用カセットボンベと考えられます。

発火事故は、収集作業員や近隣住人、通行人にも被害が及ぶ恐れがあり大変危険です。さらに、その後の収集作業が遅れる等の支障が生じます。

また、乾電池や小型充電式電池もリサイクルセンターでの破碎処理等の際に、発火の恐れがあります。電池を使用する機器を出す際には必ず電池を取り除いてください。

危険防止のため、正しい分別排出にご協力をお願いします。

《有害ごみの出し方》

ライター(使い捨て)

中身を空にして、透明又は半透明の袋に入れて出してください。

乾電池・ボタン電池

透明又は半透明の袋に入れて出してください。

スプレー缶

中身を空にして、**穴をあけずに**バケツ等の任意の容器に入れて出してください。燃やせないごみ・缶の日には出さないでください。

小型充電式電池(ニカド電池・ニッケル水素電池・リチウムイオン電池)は市では収集できません。

小型充電式電池のリサイクル協力店へお持ちください。

リサイクル協力店	住所	電話番号
(株)コジマ×ビックカメラ 福生店	福生市本町36-1	☎042-539-3711

ごみ減量と資源化促進の取り組みとして、「ぬいぐるみ回収」と「フードドライブ」を実施しました!

ふっさ環境フェスティバルと産業祭及びその前後の期間で、ぬいぐるみの回収とフードドライブを実施しました。お持ちいただいた回収量の結果は次のとおりです。

ふっさ環境フェスティバル

- ぬいぐるみ 653点
..... 119.2kg
- フードドライブ 45点
..... 6.9kg

産業祭

- ぬいぐるみ 281点
..... 50.9kg
- フードドライブ 28点
..... 10.0kg



集まったぬいぐるみは、海外で再利用され、食品はフードバンクへ寄付します。みなさまのご協力ありがとうございました。



食品ロス削減

わたしたちができること!!



食品ロスとは？

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

日本では年間約643万トン（農林水産省 平成28年度推計）の食品ロスが発生しています。この食品ロス量を国民1人当たりの食品ロス量に換算すると、お茶碗1杯分（約139g）の食べ物が毎日捨てられていることとなります。

食品ロス削減は、食べ物の廃棄量を減らすという環境面だけではなく、無駄なものを購入しなくてすむという家計面でもメリットがあります。

食品ロスの原因は？

家庭から出る食品ロスの原因は、大きく**3つ**に分けられます。

- ◎ **直接廃棄**……賞味期限や消費期限が切れて捨てられた食品
- ◎ **食べ残し**……作りすぎ等により、食べきれずに捨てられてしまう料理や食品
- ◎ **過剰除去**……調理の際に野菜の皮を厚くむきすぎる等、食べられる部分まで捨てられた食材



食品ロスを減らす工夫

3つの工夫「**買いすぎない**」「**食べきる**」「**使いきる**」

- ◎ 買い物前に在庫を確認し、食材を買いすぎない
- ◎ 食べ残し等を減らすために、食べきれる量を調理する
- ◎ 余った食材や料理は、別の料理に活用する



買いものリストで
買い過ぎ防止!!



「賞味期限」と「消費期限」の違いを知っていますか？

加工食品には、「賞味期限」または「消費期限」が表示されています。違いを正しく理解して、食品ロスを減らしましょう。

賞味期限	おいしく食べることができる期限。期限を超えた食品が、すぐに食べられなくなるわけではありません。
消費期限	安全に食べることができる期限。期限を超えた食品は食べない方が安全です。

※一度開封したら、賞味期限や消費期限に関わらず早めに食べましょう。

食品ロスを減らすためには、日ごろの生活で私たちにできることから実践することが大切です。

外食のときには……

食べられない食材が含まれていないかの確認や小盛りにしてもらおうなど、食べきれる量の注文をしましょう。どうしても残ってしまった場合には、持ち帰ることができるかお店に確認してみましょう。



実践しよう! 『3010(さんまるいちまる)運動』

～忘年会・新年会はおいしく残さず食べきりましょう!!～

「3010運動」とは、宴会時の食べ残しを減らすキャンペーンです。

【乾杯後30分】席を立たずに料理を楽しみましょう

【お開き10分前】自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう

宴会時には食べ残しが出るが多いため、「3010運動」を呼びかけて、食べ残しによる食品ロスを削減しましょう。

<参考>
環境省：「食品ロスポータルサイト」
「食品廃棄物の利用状況等（平成28年度推計値）」
消費者庁：「期限表示」

再生紙を使用しています